

北里大学病院救命救急・災害医療センター

診療案内 施設・診療実績 チーム医療 教室スタッフ 募集 見学のご案内

→ 教育 → 研究 → 著書・雑誌 → 研究会・勉強会・症例検討会 → コラム → リンク

教室スタッフ

2015年度スタッフ一覧

2014年度スタッフ一覧

2013年度スタッフ一覧

- 部長/准教授
北原 孝雄
病棟主任/心身総合救急医学・臨床中毒学講座特任教授（救命救急兼任）
上條 吉人
- 救命救急、一般外科
片岡 祐一
- 整形外科
峰原 宏昌
- 神経内科
井出 俊光
麻酔、集中治療、呼吸療法サポーター
- トチーム、静脈血栓症予防
黒岩 政之
救命救急、循環器内科、災害医療、プレホスピタル（救命士研修・教育、ドクターカードクターヘリ）
- 竹内 一郎
肝胆脾外科
- 島田 謙
整形外科
- 松浦 晃正
脳神経外科
- 今野 慎吾
精神科、中毒
- 井出 文子
救命救急、集中治療
- 神應 知道
脳神経外科
- 小泉 寛之
救命救急
- 服部 潤
救命救急
- 櫻見 文枝
形成外科
- 熊澤 憲一
整形外科
- 河村 直
救命救急、一般外科
- 花島 資
救命救急
- 朝隈 禎隆
救命救急
- 山谷 立大
救命救急
- 猪狩 雄蔵

■ われわれと一緒に命を救う感動をわかちあいませんか

心身総合救急医学・臨床中毒学講座特任教授（救命救急兼任） 上條吉人



私は現在北里大学病院救命救急・災害医療センターで医局長をしている上條と申す者です。振り返ってみれば最初は精神科医を志した私が何の因果でいまこうしているか不思議でたまりません。私は東京医科歯科大学を卒業後、母校の附属病院精神神経科で研修をし、その後、都内の総合病院の神経科で働いていました。ところがある日私の受け持ち患者が病院の7階より飛び降り自殺を図ってしまったのです。患者はただちに救急外来の蘇生室に運ばれたのですが即死の状態でした。1階で外来診療をしていた私もすぐに蘇生室に駆け付けたのですが何もできずに呆然と立ちすくむのみでした。私はその患者の心も体も救うことができなかったのです。この痛恨極まる体験をきっかけに救命救急センターでの研修を志した私を北里大学病院救命救急・災害医療センターは快く迎えてくれました。当初は6ヶ月程度研修してまた一精神科医に戻るつもりでしたが、救命救急医療では私が考えていたより遥かに精神的ケアの需要があること、さらに身体的治療の面白さも捨て難くなったこともあって救命救急医学講座の一員として迎えてもらいました。それから既に13年の歳月が流れました。当初はレジデントとして月に10回以上の当直をこなし、さらに重症患者がいるときは泊まり込み、その後はスタッフとして若い先生方の指導をしてきました。この間に多くの命を救う感動を体験してきました。

私の体験からわかるように、北里大学病院救命救急・災害医療センターのよさは広く救命救急医療を志す医師を受け入れる懐の深さです。いま救命救急医療を志したいと思っている方、下記の紹介を読んでいただければわかるように、われわれは出身大学、年齢、経歴年数、これまでの専門、目的を問いません。われわれと一緒に命を救う感動をわかちあいませんか。

北里大学病院救命救急・災害医療センターはどんな医師によって成り立っているのか？
北里大学病院救命救急・災害医療センターは寄り合い所帯です。まず主治医を担当する様々な専門性を持った、医師としての経験が最低6年以上のスタッフが20名程います。このスタッフも救命救急医学講座に所属している専従のスタッフと各診療科から1~3年毎に派遣され、その間は専ら救命救急医療に従事する専任のスタッフに分かれています。次に受け持ち医を担当するやはり様々な診療科に属するレジデントが10~20名程います。彼等も救命救急医学講座に所属している専従のレジデントと各診療科から3~6ヶ月毎に派遣されるレジデントに分かれています。さらに、臨床研修医が常時4~5名程度います。これら40名前後の医師が北里大学病院救命救急・災害医療センターの診療を支えています。

北里大学病院救命救急・災害医療センターの専従医の出身は？
北里大学病院救命救急・災害医療センターの専従医とは北里大学医学部救命救急医学講座に所属している医師と言い換えることもできます。北里大学医学部救命救急医学講座の助手以上に相当する専従のスタッフの出身大学を見ると北里大学と筑波大学が各2名、横浜市立大学、岐阜大学、東京医科歯科大学、杏林大学、名古屋大学が各1名です。専従のレジデントの出身大学は北里大学が4名、杏林大学が1名です。このようにわれわれの講座は広く門戸を開いていて学閥など存在しないことがわかると思います。

北里大学病院救命救急・災害医療センターの診療の特徴は？
多くの救命救急センターでは外来の蘇生室で診断および初期治療がなされた後、各診療科に振り分けられています。しかし、北里大学病院救命救急・災害医療センターでは14床のIntensive Care Unit (ICU)、および、11床のHigh Care Unit (HCU) と24床の大部屋からなる救急病棟が運営され、さまざまな専門性を持つスタッフによって高度な医療が提供され、重症患者が治療により回復していく過程を共にできます。このように自己完結型の救命救急センターであるため、特に若い医師にとっては多くのことを学び、多くのことに感

[2012年度スタッフ一覧](#)

動できる施設であると自負しています。

[2011年度スタッフ一覧](#)

北里大学病院救命救急・災害医療センターはどんな医師を受け入れているのか。
北里大学病院救命救急・災害医療センターには昼夜をとわず重症患者が搬送されてきます。従って、24時間体制で常に必要な人員を配置しておかねばなりません。しかし、最近の若いドクターは仕事以外の時間を大切に考え、医療の3Kのイメージのある救急を敬遠する傾向にあります。さらに臨床研修医制度のあおりも加わって現在人員不足の状態にあり一人一人の負担が大きくなっているのが現状です。一人でも多くの新しい仲間を求めている状況が続いています。臨床研修医が終了し北里大学救命救急医学講座に加わり将来長く講座の発展のために貢献してくれる方はもちろん、改めて救命救急医療を志す方も大歓迎です。既になんらかの専門性を有していてスタッフとして加わってくれる方も歓迎します。また、すでに他の診療科に属して、できれば3ヶ月以上の期間救命救急医療を勉強されて本来の所属に戻る方も歓迎します。

[2010年度スタッフ一覧](#)

[2009年度スタッフ一覧](#)

[2008年度スタッフ一覧](#)

[2007年度スタッフ一覧](#)

[2006年度スタッフ一覧](#)

とにかく“百聞は一見にしかず”、まずわれわれの施設に見学にきてみませんか。365日昼夜を問わず見学を受け入れています。そうして、われわれと一緒に命を救う感動をわかちあいたいと思われれば是非ここで働いてみてください。

[2005年度スタッフ一覧](#)

[ともどる](#)

[ページトップ](#)

[診療案内](#) | [施設・診療](#) | [チーム医療](#) | [教室スタッフ](#) | [募集](#) | [見学のご案内](#)
[教育](#) | [研究](#) | [著書・雑誌](#) | [研究会](#)・[勉強会](#)・[症例検討会](#) | [コラム](#) | [リンク](#)

[⇒ 北里大学病院](#) [⇒ 北里大学医学部](#) [⇒ 個人情報の保護について](#)

北里大学病院救命救急・災害医療センター 〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

Copyright © 2005. Kitasato University Hospital. All Rights Reserved.